

福島第一原子力発電所の状況

平成 27年3月 17 日
東京電力株式会社

<1. 原子炉および原子炉格納容器の状況> (3/17 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.0 m ³ /h	15.4	4.3 kPa g	A系： 0.03 vol%
		給水系：約 2.5 m ³ /h			B系： 0.02 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.4 m ³ /h	20.9	5.17 kPa g	A系： 0.05 vol%
		給水系：約 2.0 m ³ /h			B系： 0.04 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.4 m ³ /h	18.2	0.22 kPa g	A系： 0.06 vol%
		給水系：約 2.0 m ³ /h			B系： 0.07 vol%

【5号機】・H27/3/11 0:14 頃 5号機残留熱除去系(以下、「RHR」という)(A)系において、電動弁開閉試験前のラインナップを行っていたところ、RHRポンプ(A)の圧力抑制室側吸込弁(MO-10-13C)(以下、「当該弁」という)の「開」操作をした際に「RHR A 電動弁過負荷」の警報が発生し、当該弁が過負荷トリップした。その後、同日 0:24 に当該弁は、外観上異常がないことを確認。なお、炉心冷却およびプール冷却はRHR(B)系にて行っており、影響はない。

3/16 点検において、当該弁を現場にて手動で開操作を実施したところ、問題なく動作。また、その後の電動による開閉試験においても再現せず、異常がないことを確認。このことから、弁体シート部の一時的な摺動抵抗増加等が原因であると推定。

<2. 使用済燃料プールの状況> (3/17 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	13.5 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	27.8 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	22.3 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	8.8 °C

※ 各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウエルヘビドラジンの注入を適宜実施。

<3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況>

号機	排出元	→	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋	→	集中廃棄物処理施設(高温焼却炉建屋)	3/2 10:25 ~ 移送実施中

<4. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (3/17 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設 備(ALPS)	増設多核種 除去設備	高性能多核種 除去設備
運転 状況	運転中*1	運転中*1	水バランスを みて断続運 転	水バランスを みて断続運 転	ホット試験中*2	ホット試験中*2	ホット試験中*2

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

*2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

<5. その他>

- ・H27/2/5 ～ 3号機海水配管トレンチの閉塞を目的とした閉塞材料の充填作業を開始。
- ・H27/2/14～ 4号機海水配管トレンチの閉塞を目的とした閉塞材料の充填作業を開始。
- ・H27/2/24～ 2号機海水配管トレンチの閉塞を目的として、立坑への閉塞材料の充填作業を開始。
- ・H26/6/2～ 陸側遮水壁工事を開始。
- ・H27/3/16～ 1号機原子炉建屋カバー解体工事に向けて準備工事を開始。

【地下水バイパス揚水井の状況】

- ・地下水バイパス揚水井 No.1～12 のサンプリングを継続実施中。
- ・地下水バイパス一時貯留タンクグループ2の当社および第三者機関による分析結果[採取日:3/7]は同等の値であり、ともに運用目標値を満足していることを確認。

【H4,H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

<H4エリア周辺のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<H6エリア周辺のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【タービン建屋東側の地下水調査／対策工事の実施状況】

<地下水観測孔サンプリング実績>

- ・H27/3/16 に採取した地下水観測孔 No.1-11 の汲み上げ水において、前回(採取日 3/12)と比較し、セシウム 134 は前回 0.39Bq/L に対し 4.7Bq/L、セシウム 137 は前回 0.89Bq/L に対し 16Bq/L と上昇を確認。また、同日採取した地下水観測孔 No.1-8 においても前回(採取日 3/9)と比較し、セシウム 134 は前回 16Bq/L に対し 73Bq/L、セシウム 137 は前回 49Bq/L に対し 230Bq/L と上昇が確認されたが、同日採取した No.1-11 および No.1-8 近傍の地下水観測孔 6箇所の測定結果に有意な変動は確認されていないことから、3/17 に上昇が確認された当該観測孔2箇所について、再度サンプリングして測定を行う予定。なお、当該観測孔2箇所の位置する1・2号機取水口間では、海洋への流出防止を目的として、ウェルポイントにおける地下水の汲み上げを継続している。
- ・その他については、前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

<地下貯水槽サンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上